


3月のイベント

かんたん、楽しい！ 全2回／参加無料

絵本づくりワークショップ



絵本づくりはむずかしくありません。
絵を描いたり、好きなイラストを貼ったり、
言葉を付けたり、みんなで楽しみながら
自分だけの絵本を作ってみましょう。
完成した作品は、きっと大事な思い出になりますよ。

講師：木村 研さん
(作家、手作りおもちゃ研究家)

日時：①3月28日(水) 13:00～15:00
②3月29日(木) 13:00～15:00
※2日間でいくつかの作品を作ります。
どちらかだけの参加もOKです。

定員：各回 20人(事前の申し込みが必要です)
※3月7日(水)から受け付け開始します。

対象：小学生以下の児童と保護者の方。
お父さんだけでも参加できます。
※はさみを使いますので、就学前のお子さんは
保護者の方が一緒に参加してください。

持ち物：はさみ、のり、好きな筆記具
(色鉛筆、クレヨン…)

場所：豊島区立目白図書館 区民集会室(B1)

3月は、「外国語おはなし会」があります！

3月29日(木)15時～、目白図書館

外国で生まれた物語や絵本。では、もともと書かれた国の文化や言葉は、どのようなものでしょうか？ 今回は中央ヨーロッパの「チェコ」。たくさんの本を翻訳されている木村有子さんに原語での朗読と、チェコの魅力についてうかがいます。

指定管理者：(株) 図書館流通センター

目白図書館 月刊情報誌

2

2018

We [ウィー] hite ye



2月

3月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5 (休)	6	7 ☹️☀️	8	9	10
11	12	13	14 ☀️	15	16	17
18	19	20	21 ☀️	22	23 (休)	24
25	26	27	28 ☀️			

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5 (休)	6	7 ☹️☀️	8	9	10
11	12	13	14 ☀️	15	16	17
18	19	20	21 ☀️	22	23 (休)	24
25	26	27 🎵	28 🎵☀️	29	30	31

- ☀️ マークのついている日はあいうえおはなしかいです。(15時からB1 集会室にて)
- ☹️ マークのついている日はあかちゃんおはなしかいです。(14時からB1 集会室にて)
- 🎵 マークのついている日はスペシャルイベントがあります。

豊島区立目白図書館

〒171-0031 豊島区目白4-31-8

☎03-3950-7121

●開館時間●

平日 9:00~20:00

土・日・祝日 9:00~18:00

●休館日●(第1月曜日・第4金曜日)

【2月】5日(月) 23日(金)

【3月】5日(月) 23日(金)



「赤い鳥」創刊100年

【いわさきちひろ生誕 100 年】

今年には画家・絵本作家のいわさきちひろ生誕 100 年に当たります。全ての子ども
の幸せと世界の平和を祈りつつ描き続けた、ちひろの世界。独特の色彩と筆使い
が多くの人々の心に残る絵は、今なお私たちを魅了し続けています。

55 歳という若さで亡くなったちひろですが、その創作活動は日本の絵本が確立
し、多彩な発展をしていく過程と重なっています。東京都練馬区下石神井の自宅
跡に建つ「ちひろ美術館・東京」には、ちひろのアトリエがそのままに展示して
あり、作品制作に向かう姿をしのぶことができます。

『いわさきちひろ画集』いわさきちひろ／著 毎日新聞社 【L 726.5 I】

『鏡のなかの私 —もう一度みつめて—』いわさきちひろ／著 大和書房 【726 I】

『ラブレター』いわさきちひろ／著 講談社 【726.6 I】

『戦火のなかの子どもたち(創作絵本 14)』岩崎ちひろ／作 岩崎書店 【E 47】

『安曇野ちひろ美術館をつくったわけ』松本猛／著 新日本出版社 【726 マ】

きょうか しょ ぼん よ 教科書本を読もう！

『ごんぎつね』 ^{にいみなんきち さく} 新美南吉 / 作 ^{まさひろ え} かすや昌宏 / 絵

— ^{ねんせい} 4年生 ^{こくご} 国語 ^げ 下 ^{けいさい} 掲載 —

だれもが ^よ 読んだことのある、^{にいみなんきち} 新美南吉の『ごんぎつね』です。この作品は
^{しょうわ} 昭和7年『^{ねん} 赤い鳥』において、『^{あか} 赤い鳥』として世に出ました。^{ごんぎつね} 南吉の死後、
^{かれ} 彼の創作ノートの中から ^{なか} 草稿『^{ごんぎつね} 権狐』が ^{みつ} 見つかったことにより、『^{あか} 赤い鳥』
^{ばん} 版と ^{なんきち} 南吉オリジナル版の ^{ばん} 違いが ^{あき} 明らかになりました。

^{なか} 中でも、^{さいご} 最後に ^{ひょうじゅう} 兵十に ^う 撃たれたあとの ^{えが} ごんの ^{かた} 描き方の ^{ちが} 違いがよく ^あ あげ
^{なんきち} られます。南吉の『^{ごんぎつね} 権狐』は、『^{こうてい} 校定新美南吉全集』^{だい} 第10巻 ^{たいにっほん} (大日本図書)
^{しゅうろく} に ^{すく} 収録されています。「^{ひょう} 救いがある」とも ^{ひと} 評されるもう一つの『^{ごんぎつ} 権
^{としまくりつと} ね』、^{しょ} 豊島区立図書館にも ^{しょぞう} 所蔵がありますので、^き 気になる方は ^{かた} ぜひ。

【今月の特集展示】

一般コーナー 「2018 スポーツ」

冬季オリンピック、サッカーワールドカップ。

今年はどんなドラマが、生まれるのでしょうか。

YAコーナー 「健康第一」

心も体も、元気が一番。

まずは健康、考えてみませんか？

じどう

児童コーナー 「あたたかいもの」

^た食べる、^き着る、さわる。

^{こころ}心が^{あたた}かくなるものを^{あつ}集めました。



【館長だより ～めじろの森から～】

大正・昭和（戦前・戦後）の、目白の姿を調べています。
小さいころの思い出や記憶を、ぜひお話しください！

大正時代、目白・池袋は、自由主義による新しい文芸・教育運動、いわゆる大正デモクラシーの中心地の1つでした。そうした中から、現代児童文学の源泉である児童文芸誌『赤い鳥』が誕生しました。今年はその創刊100年に当たります。

そこで、『赤い鳥』のあった大正・昭和戦前期、『赤い鳥』を直接受け継いでいた戦後しばらくの時期の、目白・池袋の姿を記録に残したいと思います。

図書館スタッフが、直接、お話をお聞きます。記憶があいまいでもかまいません。ぜひ、思い出をお聞かせください。（くわしくはカウンターまで）